

岩崎鐵次郎編纂

版權所有

日本地理  
試驗問題  
解答

東京 成文館發兌

尋常中師範學校  
尋常高等小學校  
陸海軍諸學校用  
**受驗用普通學發兌廣告**

- |        |                  |                       |                 |
|--------|------------------|-----------------------|-----------------|
| 全 第十五編 | ● 代數問題解釋法 (近刻)   | 全 第十六編                | ● 日本地理學問答 (近刻)  |
| 全 第十四編 | ● 代數理論的問答 (近刻)   | 全 第十七編                | ● 問題幾何畫法精解 (近刻) |
| 全 第十三編 | ● 算術問題解釋法 (近刻)   | 全 第十八編                | ● 萬國地理問題解答 (近刻) |
| 全 第十二編 | ● 日本地理問題解答 (新版)  | 全 第十九編                | ● 日本歷史問題解答 (近刻) |
| 全 第十一編 | ● 必採生理學問答 (新版)   | 全 第二十編                | ● 萬國歷史問題解答 (近刻) |
| 全 第十編  | ● 算術理論的問答 (新版)   | 全 第二十一編               | ● 以下ハ逐テ廣告スベシ    |
| 全 第九編  | ● 東京諸學校規則集 (新版)  | ● 以上諸問答書ハ尋常中師範學校及高等小學 |                 |
| 全 第八編  | ● 支那歷史問答 (第二版)   | ● 校等ノ諸教科書中ヨリ各必要ナル問題數百 |                 |
| 全 第七編  | ● 必採支那歷史問答 (第二版) | ● フ適要精撰シテ之ニ簡明ナル答案ヲ附シ主 |                 |
| 全 第六編  | ● 支那歷史問答 (第四版)   | ● トシテ學生及受驗者記臆上ノ復ヲ謀レリ  |                 |
| 全 第五編  | ● 萬國歷史問答 (第四版)   | ● 右各書ハ代價前金各六錢宛全國無遞送料  |                 |
| 全 第四編  | ● 外國地理學問答 (第五版)  | ● 右十册以上前金御注文ノ諸君ハ十册毎ニ  |                 |
| 全 第三編  | ● 日本歷史問答 (第五版)   | ● 一册宛右諸目中御指名ノ書籍ヲ進呈スベシ |                 |
| 全 第二編  | ● 動物博物學問答 (第四版)  | ● 爲替掛込ハ神田郵便局郵券代用ハ一割増  |                 |
| 全 第一編  | ● 必採物理化學問答 (第七版) | ● 本館ノ回答ヲ要スル御照會書ニハ必ス返信 |                 |

東京神田駿河臺袋町七番地 **成文館**

**例言**

一 本書ハ諸官立學校入學受驗者ノ爲メニ日本地理ノ要領凡ソ三百餘項ヲ撰定シ之ニ簡易ナル答案ヲ附シタルモノナリ

一 本書紙數限リアルヲ以テ既ニ日本地理學問答ニ掲載シタル者ハ總テ之ヲ省略シタルレバ之ヲ參考スルニ於テハ其便宜少ナカラザルヘシ

編者識

349例

目次

第一章	日本地理總論	一丁
第二章	畿内地理	四丁
第三章	東海道地理	八丁
第四章	東山道地理	二十丁
第五章	北陸道地理	三十丁
第六章	山陰道地理	三十四丁
第七章	山陽道地理	三十九丁
第八章	南海道地理	四十二丁
第九章	西海道地理	四十五丁
第十章	北海道地理	五十一丁

日本地理試驗問題解答

岩崎鐵次郎 編纂

第一章 日本地理總論

●日本帝國四境ノ經緯度ヲ示セ

東ハ東經百五十六度三十二分(千島占守島ノ東極)ヨリ

西ハ東經百二十二度四十五分(琉球與那國島ノ西極)ニ至リ

南ハ北緯二十四度六分(琉球波照島ノ南端)ニ起リ

北ハ北緯五十度五十六分(千島安賴度島ノ北端)ニ盡ク

●日本ノ境域ヲ示セ

四海皆海ニシテ西北ハ日本海ヲ隔テ、朝鮮ニ對シ北ニ樺太島アリ魯西亞ニ接ス東北千島諸島斷續シテ魯西亞ノ堪察加ニ連ル東南ハ太平洋ニ面シ西南ニ琉球諸島アリテ臺灣及ヒ支那地方ニ對ス

●日本ノ周圍及ヒ面積人口ヲ示セ

周圍ハ凡ソ七千十三里ニシテ面積ハ凡ソ二万四千八百方里人口三千九百万ヲ有ツ

●日本ノ成立如何

日本ハ四個ノ大島ト無數ノ小島トヨリ成ル面シテ其中央ノ最大島ヲ本洲ト云ヒ西南ノ

二大島ヲ四國島及ヒ九州島トシ東北ニ在ル一大島ヲ蝦夷島トシ附屬ノ島嶼ハ其數凡ソ二千有余ナリ

●日本國中海ニ濱セザルハ如何ナル國々ナリヤ

岩代、下野、上野、信濃、飛彈、甲斐、美濃、近江、伊賀、大和、山城、河内、丹波、美作、ノ十四ヶ國ナリ

●日本ノ三景ヲ示セ

丹後ノ天橋立、陸前ノ松島、安藝ノ嚴島ノ三地ハ之ヲ總稱シテ日本ノ三景ト云フ

●人口五萬以上ノ都會ノ名稱ヲ舉ゲヨ

東京(百十二萬二千)、大坂(三十六萬二千)、京都(二十四萬六千)、名古屋(十三萬一千)、金澤(九萬八千)、横濱(九萬)、廣島(八萬二千)、神戸(八萬)、仙臺(六萬二千)、德島(五萬七千)、和歌山(五萬五千)、富山(五萬四千)、

●開港場ノ名稱ヲ示セ

横濱、神戸、新瀉、長崎、箱館、之ヲ五港ト稱シ各國通稱ノ港トナシ更ニ下關、博多、嚴原、三港ヲ本國商人ノ朝鮮ト通商ノ港トス

●日本ノ五海峽トハ如何

筑紫島ノ西北ハ早鞆ノ瀬戸ヲ以テ本島ノ西端ニ接シ其東部ハ速吹海峽ヲ隔テ、四國島ニ對ス又蝦夷島ノ西南ハ本島ノ北端ト松前海峽ヲ夾ミ淡路島ハ其北部ニテ本島ト明石

瀬戸ヲ夾ミ其西南ニテ四國島ト鳴戸海峽ヲ夾メリ

●日本有名ノ噴火山ヲ示セ

訓路ノ阿寒岳、陸奥ノ恐山、渡島ノ惠山、下野ノ那須岳、信濃ノ淺間岳、越後ノ妙高山、越中ノ立山、肥後ノ阿蘇山、日向ノ霧島山、大隅ノ櫻島岳、等

●五畿八道中トハ如何及ヒ夫レニ包含スル邦國ヲ示セ

○畿内 山城、大和、河内、和泉、攝津、

○東海道 伊賀、伊勢、志摩、尾張、三河、遠江、駿河、甲斐、伊豆、相模、武藏、安房、上總、下總、常陸、

○東山道 近江、美濃、飛彈、信濃、上野、下野、磐城、岩城、陸前、陸中、陸奥、羽前、羽後、

○北陸道 若狹、越前、加賀、能登、越中、越後、佐渡、

○北海道 渡島、後志、石狩、手檜、北見、膽振、日高、十勝、釧路、根室、千島、

○山陰道 丹波、丹後、但馬、因幡、伯耆、出雲、石見、隱岐、

○山陽道 播磨、美作、備前、備中、備後、安藝、周防、長門、

○南海道 紀伊、淡路、阿波、讃岐、伊豫、土佐、

○西海道 筑前、筑後、豐前、豐後、肥前、肥後、日向、大隅、薩摩、壹岐、對馬、

琉球、

●日本ノ東西ニ通セル第一ノ官道トハ如何

東京ヲ基本トシ仙臺及箱館ヲ經テ石狩札幌ニ至ル迄里數二百九十里又西京下關ヲ經テ肥前ノ長崎ニ至ル其里程三百四十里アリ之ヲ東西ニ通セル第一ノ官道トス

第一章 幾内地理

●幾内ノ境界如何

北ハ近江ノ逢坂山ヲ限リ東ハ伊賀名張川南ハ紀伊ノ香山西ハ播磨ノ明石浦

●山城ノ山嶽ハ如何

比叡山ハ京都ノ東北隅ニ聳ヘ愛宕山ハ京都ノ西北隅ニ在リテ高島山嵐山等其麓ニ連ナル又京都ノ西北ニハ鞍馬山アリテ其後ニ大悲山峙ツ

●山城ノ川流ハ如何

宇治川ハ近江ヨリ發シ桂川ハ丹波ヨリ來リ木津川ハ伊賀及大和ノ二源ヨリ來ル三川皆加茂川ト共ニ淀川ニ注ク

●京都ハ如何ナル所ナリヤ

京都ハ日本三府ノ一ニシテ人口二十四萬六千延暦年間ヨリノ帝京ナリ街衢端正ニ道路洞通シ加茂川ヲ以テ其内外ヲ分チ西ヲ洛中ト云ヒ東ヲ洛外ト云フ洛外ハ西ニ嵐山アリ東ニ祇園清水等アリテ山水明媚風色絶佳ナリ

●山城ノ名邑如何

山城ノ名邑ニハ淀、伏見、木津、宇治、八幡アリ伏見ハ京都ヲ距ルコト僅ニ三里ニシテ般賑ヲ以テ名アリ市街ハ淀川ニ臨ミテ東西往來ノ要路ニ當リ運輸ニ便ナリ

●大和ノ地勢如何

南部半國ハ吉野郡ニ屬ス群中皆山ニシテ紀伊ノ境ニ至レバ重嶺幽谷人跡ナシ國ノ北部ハ連山東西ニ限リ中間ノ地ハ平遠ニシテ岡陵處々ニ起伏セリ

●大和ノ山嶽如何

金峰山ハ吉野郡ニ聳タル高山ニシテ大臺原山之ニ次ク又大臺原山ノ東北ニハ國見高見天岳ノ諸山屏列シ其西部ニハ葛城ニ上信貴生駒ノ諸山アリテ河内ニ綿亘ス

●大和ノ川流ハ如何

天ノ川ハ金峰山ヨリ發シ山間ヲ曲流シテ十津川トナリ紀伊ニ入リテ新宮川トナル○吉野川ハ大臺原山ヨリ出テ西流シテ紀伊ノ紀ノ川トナリ○初瀬川ハ國中ノ諸川ヲ合シテ河内ニ入リ大和川トナリ○奈良川ハ初瀬川ニ會シ○黒田川ハ伊賀ニ入リ名張川ニ會ス

●大和ノ名勝如何

長谷ノ觀音堂、龍田ノ法隆寺其他岡本ノ梅吉野ノ櫻龍田ノ紅葉等ハ皆有名ノ勝地ナリ

●奈良ハ如何ナル所ナリヤ

奈良ハ大和平野ノ北隅ニシテ人口二萬三千此地ハ元明帝始メテ帝都ト定メシヨリ七世八十四年間ノ皇居ナリ

●大和ノ名邑如何

大和ニハ櫛本、郡山、小泉、龍田、松山、初瀬、三輪、柳本、田原本、櫻井、今井、土佐町、高田、五所町、五條等アリ郡山ハ大區ニシテ人口二萬ヲ有ツ

●河内ノ山嶽ハ如何

國ノ東南ニ金剛山峙ツ即チ大和ノ葛城山ナリ山脈左右ニ分レ其北ニ赴クハ二上信貴生駒ノ連山トナリ西ニ赴クハ千早峠及岩湧天野ノ諸山トナル

●河内ノ川流ハ如何

大和川ハ大和ヨリ來リ石川ト相會シテ攝津和泉ノ間ニ入リ長瀬玉串ノ両川ハ寢屋川ト相會シテ西ニ赴キ攝津ノ淀川ニ注ク

●河内ノ名邑ハ如何

名邑ニハ枚方、八尾郷、久寶寺、富田林等アリ

●和泉ノ山嶽ハ如何

妙見、楨尾、牛瀧、葛城、犬鳴、雨森ノ諸山東南ニ屏列シテ紀伊ノ境ヲ最モ峻嶮ナリトス

●和泉ノ川流ハ如何

大和川ハ河内ヨリ來リテ北境ヲ限リ堺津ニ至リテ海ニ入ル

●茅渚海トハ如何

和泉ハ西淡路島ニ對シテ一ノ内海ヲナス之ヲ茅渚海ト云フ紀伊攝津其南北ヲ限レリ

●和泉ノ名邑如何

名邑ニハ堺、岸和田、貝塚、佐野等アリ堺ハ大和川ノ口ニ跨リ攝津ニ境シ運漕甚ダ便ナリ人口四萬四千ヲ有ツ

●攝津ノ山嶽ハ如何

攝津ノ西部海濱ニハ摩那武庫ノ山脈連ナリ殆下半環形ヲナシ其西端ニ鐵枵峯アリテ播磨ノ神出山ニ連ナル又攝津ノ北部ニハ神峯勝尾箕面等ノ諸山相連ナリ絶テ平野ナク丹波ノ境ニハ劍尾山天王峠アリテ殊トニ高峻ナリ

●攝津ノ川流ハ如何

淀川ハ幾内第一ノ大河ニテ山城ヨリ來リ西南ニ流レテ大坂灣ニ注グ其正源ヲ近江ノ琵琶湖ニ發ス其下流ニ安治川木津川アリ○池田川ハ丹波ノ境ヨリ來リ池田伊丹ノ間ヲ過ギ南流シテ淀川ノ支流神崎川ニ會ス○武庫川ハ源ヲ有馬部ニ發シテ南流シテ武庫ノ海ニ注ク

●大坂ハ如何ナル所ナリヤ

大坂ハ攝津ノ西南隅ニアリテ三府ノ一ニ居リ人口三十六萬一千ヲ有ツ溝渠四通且淀川河口ニアレバ運輸極メテ便ニ商業最モ繁盛ナリ此府ノ地勢西ハ南海及ヒ中國ノ要樞ニ當リ船舶河口ニ輻湊シ百貨流通實ニ皇國第一繁富ノ地ナリ

●神戸ハ如何ナル所ナリヤ

神戸ハ五港ノ一ニシテ湊川ヲ夾ミテ兵庫ト接シ人口八万ヲ有ツ和出岬其西ニ斗出シテ灣内巨艦數百艘ヲ泊セシム可キ外國互市場中ノ佳港ナリ

●攝津ノ名邑如何  
攝津ニハ西宮、天王寺、難波、平野、住吉、高槻、富田、茨木、吹田、池田、尼ヶ崎伊丹等アリテ尼ヶ崎ハ人口一萬三千西宮ハ一萬二千ヲ有ツ

●幾内ノ重モナル産物ハ如何  
山城ノ宇治茶○大和ノ綿吉野葛吉野紙奈良酒奈良漬奈良人形○河内ノ木綿道明寺糠○和泉ノ鐵器○攝津ノ伊丹酒池田炭天王寺蕪有馬細工御影石等

●幾内中ノ最大ナル國及ヒ海ニ濱セシ國ヲ示セ  
最大ナルハ大和最小ナルハ和泉又海ニ濱セルハ和泉攝津ノ兩國ナリ

第三章 東海道地理

●伊賀ノ山嶽ハ如何

國ノ西南ニ天岳峙テ其山脈左右ニ延キテ東ハ七見長野笠取等ノ諸嶺ニ互リテ西ハ黒田峠ニ連リ山岳重疊シテ四境ヲ環擁セリ

●伊賀ノ川流ハ如何

伊賀川源ヲ東偏ニ發シテ西北ニ流ル是ヲ木津川ノ上流トス名張川ハ太和ヨリ來リ更ニ反流シテ大和ニ入ル

●伊賀ノ名邑ハ如何

伊賀ニハ上野名張等ノ名邑アリ上野ハ人口一萬三千ヲ有ツ

●伊勢ノ形勢如何

國境ハ山多クテ西南最深シ中央ハ平地多ク内地ハ大別シテ北伊勢南伊勢ト稱ス

●伊勢ノ山嶽如何

國ノ中央ニハ堀坂山屹立シ南部西境ニハ白倉山アリ又安濃郡ノ稍ヤ中央ニ經峯屹峙シ其西北ニ錫杖嶽連ナル又鈴鹿山ハ伊勢ノ而北境ニアリ山脚延テ伊賀國ニ跨リ志摩ノ境ニ朝熊山神路山峙テリ

●伊勢ノ川流如何

此國ノ川流ハ皆其源ヲ西境ノ山麓ニ發シ東流シテ伊勢内海ニ注グ即チ南勢ニハ雲津川尼岳ヨリ出テ、辛洲ニ注キ宮川ハ大臺原山ノ麓ヨリ發シテ大湊ノ北ニ入リ楡田川ハ國ノ西南境ニ發シテ海ニ入ル又北勢ニハ安濃川ハ錫杖岳ニ發シテ安濃浦ニ入リ鈴鹿川ハ鈴鹿山ヨリ發シテ四日市ノ南ニ注グ

●伊勢大神宮トハ如何

宇治ニハ内宮アリテ天照大神ヲ祀リ山田ニハ外宮アリテ豐受大神ヲ祀ル之ナリ

●安濃津ハ如何ナル所ナリヤ

伊勢海岸ノ中央ニアリ阿漕浦ニ臨ミ贊岐ヲ舟泊ノ處トス入口一萬六千ヲ有ツ

●伊勢ノ名邑ハ如何

伊勢ニハ四日市山田桑名神戸龜山白子關松坂等ノ名邑アリ桑名ハ人口一萬五千山田ハ人口二萬一千松坂ハ人口一萬二千ヲ有ツ

●伊勢内海ノ濱地ノ名稱ハ如何

中間ニ鼓浦阿漕浦アリテ其北ヲ霞浦ト稱シ南ヲ二見浦ト稱ス

●志摩ノ岬角ハ如何

志摩ノ最南ヲ麥崎ト云ヒ麥崎ノ西面ニ向ヒタル一岬ヲ御座崎トシ麥崎ノ東ニ峙ツテ大玉崎トス

●鳥羽港ハ如何ナル所ナリヤ

伊勢ノ山田ニ至ル四里海濱ハ大港ト相距ル五里故ニ市頗街ル繁華ナリ

●志摩ノ山嶽ハ如何

日和山ハ鳥羽港ノ岸ニ聳ヘテ參河ノ伊良胡崎ト相對シテ内海ノ口ヲナシ朝熊山山伏峠等ハ西ニ連リテ伊勢ノ境ヲ限レリ

●尾張ノ山嶽ハ如何

平野ノ中央ニ小牧山特立ス其東ニ二宮山アリテ東猿投山ニ連ル又小牧山ノ北ニハ繼鹿尾山白山等アリテ其山勢美濃ニ互リテ信濃ノ木曾山ニ連レリ

●尾張ノ川流ハ如何

木曾川ハ美濃ヨリ來リ西北境ヲ環リ伊勢ノ長島ニ至リテ伊尾川ニ會シ庄内川ハ三河及美濃ヨリ來リテ西南ニ流レ枇杷島ヲ過ギテ内海ニ注グ

●尾張美濃伊勢ノ界ヲナスハ何川ニシテ何レニテ界ヲナスヤ

木曾川ノ本流西ニ環リ伊勢ノ長島ニ至リ伊尾川ニ合ス此所ナリ

●尾張知多部ノ地勢如何

連岡一帶南ニ進リ海中ニ出ル半島ニシテ海中ニ出ル十八里ナリ

●名古屋ハ如何ナル所ナリヤ

名古屋ハ三府ニ次グル大都會ニシテ街市ハ東西一里南北ハ熱田ニ連リテ二里ニ互ル人口凡ソ十四萬ヲ有ツ

●尾張ノ名邑如何

名邑ニハ熱田鳴海龜崎清洲稻置津島蟹江等アリ熱田ハ内海ニ臨ミ人口六千ヲ有ツ

●三河國名ノ起原如何

國中ニ矢矧川太平川豐川ノ三大河アルヲ以テ三河ト稱セシナリ

●三河ノ渥美郡ハ尾張ノ知多郡ト相對シテ如何ナル内海ヲ包ムヤ

渥美郡ハ東ヨリ西ニ出テタル大岬ニシテ尾張ノ知多郡ト相對シ内海ヲ包メリ是即衣ガ浦ナリ其西端ヲ伊良胡崎トス

●三河ノ山嶽ハ如何



田原山ハ渥美郡ノ中央ニ峙チ本宮岳ハ國ノ中央ニ存在シ石卷山ハ豐川ノ東ニ聳ヘ神出山ハ本宮岳ノ北ニ在リテ煙巖山ト相對シ重山深嶺其後ニ起伏シテ美濃信濃ノ境ニ互ル

●三河ノ川流ハ如何  
矢矧川ハ信濃ヨリ來リ北境ヲ環流シテ足助川ニ併セ岡崎ヲ過ギテ内海ニ入り太平洋ハ

本宮岳ヨリ發シ西流シテ岡崎ノ南ニ至リ矢矧川ニ入り豐川ハ神田山ヨリ發シ長篠ヲ過

ギ東境ヲ環流シテ吉田ニ至リ内海ニ入ル

●三河ノ名邑如何  
名邑ニハ豐橋、刈谷、大濱、池鯉鮒、舉母、岡崎、西尾、田原アリ岡崎ハ矢矧川ノ東

岸ニアリテ人口凡ニ萬三千ヲ有ツ

●遠江ノ山嶽如何  
國ノ中央ニ秋葉山聳ユ其東北ハ重嶺巒峯信濃ニ連レリ又海濱ニ高天神山峙ツ

●遠州灘ハ如何  
釘浦ノ南端ナル御前崎ハ外洋ニ突出シ其前ニ一島アリ沖御崎ト云フ海ヲ隔テ、伊豆ノ

岬志摩ノ崎ト東西相對ス七十五里其間此國ニ當ルヲ以テ之ヲ遠州灘ト稱ス

●遠江ノ川流ハ如何  
天龍川ハ信濃ヨリ來ル國ノ中央ヲ貫キ分レテ大天龍小天龍ノ二派トナリテ海ニ入り大

井川ハ信濃ノ境ヨリ發シ南流シテ駿河ノ境ヲ畫リ釘浦ニ至リテ海ニ入り三日野川ハ天

龍大井兩川ノ間ヲ過ギ大口諸井ノ諸川ヲ併セ南流シテ海ニ入ル

●遠江ノ原野ハ如何  
國中第一ノ廣野ハ三方ヶ原ナリ天龍川ノ西ニアリ南ハ海濱ニ互リ西ハ濱名湖ニ連ル即

古ノ引馬野ナリ

●濱名湖ハ如何ナル湖ナリヤ  
濱名湖ハ州ノ西南隅ニアル大湖ニテ東西四里南北五里餘古ハ湖水一條ノ川トナリ海ニ

注ギシニ明應年間其間ノ地一里餘地震ノ爲ニ陥リ潮水互ニ通ズルニ至レリ因リテ其地

ヲ今切下稱ス

●遠江ノ名邑ハ如何  
名邑ニハ濱松、新居、中泉、掛塚、見附、掛川、横須賀等アリ濱松ハ引馬野ノ南隅ニ

アリテ人口凡一萬二千ヲ有ツ

●駿河ノ山嶽ハ如何  
富士山ハ遠江甲斐ニ跨リ直立凡一萬二千四百尺日本第一ノ高山ニシテ四時白雪ヲ戴ク

其前面ニ愛鷹山突立シ又富士山ノ東ニハ足柄山ノ高山アリテ相摸ノ境ニ互ル

●浮島ヶ原トハ如何  
愛鷹山麓ニ富士沼アリ之ヨリ南田子浦ニ至ルヲテ浮島ヶ原ト云フ

●駿河ノ川流ハ如何

● 清見瀉ハ如何  
 黄瀬川ハ富士足柄ノ山間ヨリ發シ伊豆ノ狩野川ニ合ヒテ海ニ入り富士川ハ甲斐ヨリ來リ富士山ノ西麓ニ沿ヒ南流シテ海ニ入り安倍川ハ甲斐ノ境ヨリ發シ静岡ヲ過キテ海ニ入り江尻川興津川ハ共ニ源ヲ北境ヨリ發シ南ニ赴キ清見瀉ニ注ケ

● 清見瀉ハ田子浦ノ西濱ニアリ薩埵山北岸ニ突起シ三保ノ松原其南ニ横ハリ白沙青松海面ニ斗出シテ灣ヲナス灣内ニ清水港アリ

● 静岡ハ如何ナル所ナリヤ  
 静岡ハ舊ト府中ト稱ス城市繁盛ナリ賤機山其後ニ聳ヘ東ハ清水港ニ連リ風色絶佳運漕モ亦便人口凡ソ三千七萬ヲ有ツ

● 駿河ノ名邑ハ如何  
 名邑ニハ田中焼津清水沼津等アリ沼津ハ人口凡一萬ヲ有ツ

● 甲斐ノ地勢如何  
 全國富士山ノ陰ニアリ群山四境ヲ環リ中間ハ地勢稍平坦ナリ

● 甲斐ノ山嶽ハ如何  
 金峰山ハ國ノ北部ニ聳ヘ信濃ニ跨ル其東ニハ雁坂峠峙チ其西ニハ八岳アリ又駒ケ嶽白峯鳳凰等ノ諸山ハ西境ヲ限レル峰嶺ニシテ深山重疊南七面身延ノ諸嶺ニ主リ又天目山ハ大菩薩峠及雁坂峠ノ南ニ峙チ其山脈南互シテ笹子大石十二ヶ岳等ノ諸嶺トナル

● 田斐ノ川流ハ如何  
 笛吹川ハ金峰山ヨリ發シ釜梨川ハ駒岳ヨリ發ス共ニ相會シテ一河トナリ蘆川ヲ併セテ駿河ニ入り富士川トナル桂川ハ山中湖ヨリ出テ南流シ相摸ニ入りテ馬入川トナル

● 甲斐コアル五湖ヲ擧ゲヨ  
 西ニ小ナル三湖アリ西湖精進湖本巢湖之ナリ東ニ大ナル者二湖アリ川口湖山中湖

● 郡内トハ如何ナル所ナリヤ  
 都留郡ハ相摸ニ接シ天目山ノ山脈ヲ以テ其西ヲ限リ連山四周川流皆南ニ注ギ地形風土別ニ一郷ヲナスヲ以テ稱シテ郡内ト云フ

● 甲府ハ如何ナル所ナリヤ  
 甲斐ノ中央ニ位シ富士川ノ一源タル荒川ノ東邊ニ在リ人口一萬八千ヲ有ツ

● 伊豆ノ地形如何  
 地形ハ北ヨリ南ニ延キ海面ニ斗出セル半島國ナリ西ノ海ハ即チ遠州灘ニシテ東ノ海ヲ相摸灘ト稱ズ

● 伊豆ノ山嶽ハ如何  
 天城山ハ國ノ中央ニ聳ヘ相摸ノ箱根足柄ニ連ル伊豆四郡ノ地皆其麓ヲ繞ル

● 伊豆ノ川流ハ如何  
 狩野川ハ天城山ノ北麓ヨリ發シ北條非山ヲ過キ賀茂川ヲ併セテ駿河ニ入り河津川及ヒ

● 伊豆ノ川流ハ如何  
 狩野川ハ天城山ノ北麓ヨリ發シ北條非山ヲ過キ賀茂川ヲ併セテ駿河ニ入り河津川及ヒ

稻生澤川ハ共ニ天城山ノ南麓ヨリ發シ一ハ東流シテ相模灘ニ注ギ一ハ南流シテ下田港ニ入ル

●下田港ハ如何ナル所ナリヤ

國ノ南端ニアレ一港ニシテ爪木ノ崎其東ニ突出シ灣内水深ク船舶ノ碇泊ニ便ナリ

●伊豆ノ岬角ハ如何

州ノ最南ニ石廊崎アリ西海ヲ隔テ遙ニ志摩ト相對ス又石廊崎ノ西ニハ雲見崎アリテ遠江ノ御前崎ト相對シ雲見崎ノ北ニハ江梨崎突出セリ

●熱海ハ如何ナル所ナリヤ

熱海ハ有名ノ温泉場ニシテ其地相模灘ニ臨ミ川名崎其南ニ斗出シテ海水灣ヲナシ日金山其後ニ峙チ眺望絶佳ナリ

●伊豆七島ヲ示セ

爪木崎ノ正東ニ大島アリ周回十里其南ニ新島利島式根島神津島三宅島三倉島アリ合セテ之ヲ伊豆七島ト云フ

●小笠原島ハ如何

小笠原島ハ太平洋中ニ散布セシ群島ニシテ大小八十九アリ下田ヲ距ルニ二百餘里遙ニ伊豆諸島ト連ル其稍大ナルモノヲ父島母島ト云フ

●相模ノ山嶽ハ如何

國ノ中央ニ雨降山聳ヘ丹澤山其上ニ立ツ足柄山ハ孫佛猪鼻ノ諸山ト共ニ駿河ノ境ニ并立シテ箱根山ハ伊豆ニ跨ル海道第一ノ險山ニシテ山上ニ駒岳二子山等相峙アリ

●相模ノ川流ハ如何

桂川及道志川ハ甲斐ヨリ來リ相會シテ馬入川トナリ環流シテ外洋ニ入り金目川ハ雨降山ノ溪流ヲ集メ南下シ花水川トナリ大磯ニ注ギ酒匂川ハ足柄山ヨリ南流シテ海ニ入ル

●鎌倉ハ如何ナル所ナリヤ

鎌倉ハ三崎ノ西北ニ在リテ外洋ニ面ス西ニ稻村ヶ崎、江ノ島アリ此地ハ源賴朝以來世々ノ幕府址ニシテ古蹟多シ

●武藏ノ山嶽ハ如何

武甲三峯ノ諸山ハ正面ニ峙チ峯嶺相重リテ國境ヲ擁ス總テ之ヲ秩父山ト云フ

●武藏ノ川流ハ如何

多摩川ハ甲斐ヨリ來リ東流シ羽田ニ至リ内海ニ入ル荒川ハ信濃ノ境ヨリ發シ東北ニ流シ屈曲シテ東ニ赴ク其下流ヲ隅田川ト云フ江戸川ハ利根川ノ支流ニシテ國ノ東境ヲ南流ス

●武藏野ノ如何

武藏野ハ多摩川荒川ノ間ニ在リテ西ハ秩父山ヲ限リ東ハ内海ニ至ル古來有名ノ原野也

●東京ハ如何ナル所ナリヤ

東京ハ三府ノ一ニシテ内海ニ臨ミ隅田川ニ跨レル大都ニテ東西三里南北五里徳川氏府ヲ此地ニ開キシヨリ以來二百七十年稱シテ江戸城ト云ヒシガ明治元年ニ至リテ皇居ヲ定メ東京ト稱ス人口百十二萬二千ヲ有ツ

●横濱ハ如何ナル所ナリヤ

横濱ハ五港ノ一ニシテ羽田ノ南ニ在リ海水灣入シテ本牧ノ岬其東ニ突出ス港内水深クシテ大艦巨舶常ニ輻湊ス外國互市場中最盛ノ地ニテ人口九萬ヲ有ツ

●安房ノ地勢如何

全國山多クシテ三面共ニ海ニ臨ミ沿岸皆絶壁ニシテ海中岩礁多シ

●安房ノ岬角如何

洲ノ崎ハ西南ニ突出シ相對シテ内海ノ口ヲナシ又最南ニハ野島ケ崎アリ

●安房ノ山嶽如何

鋸山ハ内海ノ岸ニ聳ヘテ上總ニ跨リ横根花立清澄ノ諸山ハ上總ノ境ニ連レリ

●安房ノ川流如何

加茂川ハ横根山ノ麓ヨリ發シ東流シテ外海ニ入リ湊川ハ富山ノ陰ヨリ發シ西流シテ館

山港ニ注ク

●上總ノ地形如何

地形南ハ山嶺相連リ北ハ原野平衍ニシテ東西共ニ海ニ臨ミ安房ト接シテ一半島ヲナス

●上總ノ山嶽如何

鹿野山高岩山ハ内海ニ臨ミケル高山ニシテ其後面ハ其山嶺重疊安房ノ鋸山ニ連レリ

●九十九里濱トハ如何

大東ケ崎ハ大洋ニ突出シテ南ニ勝浦興津ノ二港アリ此崎ヨリ北ハ海濱ヲ九十九里濱ト云ヒ下總ニ連リテ東大洋ニ面ス

●上總ノ川流ハ如何

諸川皆源ヲ安房ノ境ヨリ發ス大多喜川ハ東流シテ大東ケ崎ノ南ニ注キ養老小櫃小糸ノ

諸川ハ皆西流シテ内海ニ入ル

●下總ノ地勢如何

全國平坦ニシテ山ナリ原野殊ニ多クシテ日本第一ノ平地タリ

●下總ノ湖沼如何

國ノ中央ニ印幡沼アリ屈曲數里ニ亘ル其他手賀沼長沼等共ニ大ナリ

●下總ノ川流如何

利根川ハ又坂東太郎ト稱ス武藏上野ノ間ヨリ來リ絹川小貝川等ノ諸川ヲ併セテ東南ニ

流レ銚子港ニ至リテ海ニ入ル

●千葉ハ如何ナル所ナリヤ

東京灣ノ東北隅ニ臨メル一都會ニシテ登戸寒川ノ兩邑ト相接セリ人口凡一萬八千

●下総ノ港泊如何

銚子港ハ利根川ノ海口ニ在リテ東洋中ノ川港ナリ

●常陸ノ山嶽如何

國ノ中矢ニ筑波山聳ヘ其北ニ蘆穂加波ノ両山並峙ス又金砂月居ノ諸山ハ久慈川里川ノ間ニ聳ヘ其東ニ高鈴山アリ八溝山ハ磐城下野ニ跨ル大山ニシテ下野ノ境ニハ鳥子山高ク聳ヘタリ

●常陸ノ川流如何

那珂川ハ下野ヨリ來リ久慈川ハ八溝山ヨリ發ス共ニ東南ニ流レテ東洋ニ注グ

●常陸ノ湖沼如何

霞浦ハ國ノ東方ニアリテ周回三十六里近江ノ琵琶湖ニ亞ク其他北浦千波沼濁沼牛久沼大寶沼等アリ

●水戸ハ如何ナル所ナリヤ

水戸ハ那賀川ノ南岸ニアル一都會ニシテ南ハ千波沼ニ臨ム人口一萬九千ヲ有ツ

### 第四章 東山道地理

●近江ノ地勢如何

連山四境ヲ圍繞シ中央ニ一大湖アリ是ヲ琵琶湖ト云フ諸郡皆此湖ヲ環レリ

●近江ノ山嶽如何

湖西ニハ比叡山アリテ山城ニ跨リ比良三尾柄木ノ諸山其北ニ聳ユ又湖東ニハ伊吹山アリ横山靈山其左右ニ峙チ美濃ノ境ヲ拂ス伊勢ノ境ニハ三國岳八風越水晶嶺御池岳等屏列シテ高島山ニ連リ又平野ノ間ニハ三上山突出セリ

●近江ノ川流ハ如何

此國ノ川流ハ皆四境ノ山麓ヨリ發シ湖水ニ注グ湖東ニ愛知川野洲川アリ湖西ニ安曇川アリ又湖北ニ姉川アリ

●近江ノ湖沼ハ如何

國ノ中央ニ一大湖アリ琵琶湖ト云フ我國第一ノ大湖ニシテ東西十里南北二十里周回七十三里餘其岸ハ港灣多クシテ湖中ニ四島アリ竹生島最モ著ル湖邊ニ近江八景アリ湖水ハ南流シテ山城ニ至リ宇治川トナリテ淀ニ入ル

●琵琶湖岸ニアラ繁華ノ地ナシヤ

南岸ニ大津アリ東北ニ早崎長濱海津等アリ共ニ運漕ニ便ナリ

●美濃ノ地勢如何

此國ハ三面山ヲ負ヒ東北最モ峻險ナリ唯南一面ノミハ伊勢平坦ニシテ尾張伊勢ニ連リ諸川縱横ニ流通シテ其間ニ各務野大野吉野等ノ廣原アリ

●美濃ノ山嶽如何

大日留ハ飛驒越前ニ跨リ惠那嶽ハ信濃ノ境ニアリ又三國峠ハ伊勢近江ノ境ニアリテ多

藝山其麓ニ連リ北ニ養老山アリ

●美濃ノ川流如何

木曾川ハ信濃ヨリ來リ飛彈川ヲ併セテ西流シ尾張ノ境ニ沿ヒ遂ニ伊勢ノ内海ニ入ル長  
良川ハ大日岳ヨリ發シ國ノ中間ニ横流シ糸貫川ト會シテ洲股川トナリ南流シテ木曾川  
ニ入ル揖斐川ハ大野郡ヨリ發シ南流シ安八郡ノ諸川ヲ併セテ伊勢ニ入ル

●岐阜ハ如何ナル所ナリヤ

稻葉山ヲ負ヒ長良川ニ臨ミ國ノ中央ニアル城市ナリ人口二萬三千ヲ有ツ

●飛彈ノ地勢如何

此國ハ北陸東山兩道中ノ小國ニシテ攢峰重嶺其四境ヲ擁シ急澗激流多シ

●飛彈ノ山嶽如何

位山ハ國ノ中央ニアリ全山皆水松ナリ又國ノ東ニハ乘鞍岳峙チ其北ニハ槍ヶ嶽錫杖岳  
北股岳金剛岳等連ル其他國中ニハ川上白木三方崩等ノ諸岳峙アリ

●飛彈ノ川流如何

此國ノ川流ハ皆激流ニシテ船ヲ通スル能ハズ益田川ハ源ヲ乘鞍岳ノ大池ヨリ發シ南流  
シテ美濃ニ入リ宮川ハ川上岳ヨリ發シ北流シテ越中ニ入リ白川ハ白山ノ白水瀧ヨリ發  
シ又北流シテ越中ニ入ル

●信濃ノ地勢ハ如何

東海北陸ノ間ニ在ル大國ニシテ連山四面ヲ圍繞シ坂路峻嶮其疆十國ニ連リ地勢高寒也

●信濃ノ山嶽ハ如何

國ノ東境ニ噴火山アリ淺間岳ト云フ西境ニ御嶽アリ飛彈美濃ニ跨リ國中第一ノ高山ナ  
リ又和田峠ハ國ノ中央ニ在ル大嶺ニシテ其脈三方ニ分レ延キテ國中ヲ區域シ南ニ赴ク  
モノハ大門峠トナリ甲斐ノ八岳ニ連リ西南ニ互ルモノハ摺尻峠鳥居峠トナリ駒ヶ岳ニ  
連リテ三河美濃ニ跨リ北ニ繞ルモノハ室賀嶽捨ノ諸山トナル

●信濃ノ川流ハ如何

千隈川ハ源ヲ甲斐ノ金峰山ヨリ發シ駒ヶ岳ヨリ發スル所ノ犀川ト合シテ越後ニ入ル即チ  
信濃川ナリ又天龍川ハ諏訪湖ヨリ發シテ遠江ニ流レ木曾川ハ筑摩郡ノ山中ヨリ發シテ  
西流シテ御嶽川ヲ併セ美濃ニ入ル

●信濃ノ湖沼ハ如何

諏訪湖ハ和田峠ノ西境ニアリ周回四里餘盛冬ノ湖水堅ク凍リテ人馬氷上ヲ行ク其水ハ  
流シテ飯田ヲ過キ深山絶崖ノ間ヨリ奔流シテ遠江ニ入ル

●長野ハ如何ナル所ナリヤ

長野ハ信濃ノ北部ニアリテ南ニ川中島アリ有名ナル善光寺ノ在ル所ナリ人口凡一万八  
千ヲ有ツ

●上野ノ山嶽ハ如何

赤城榛名妙義ノ三山ハ國ノ中央ニ鼎立シ大小二個ノ烏帽子岳ハ北境ノ群峰中ニ雙ヒ聳  
 へ最も高峻ナリ碓氷峠ハ信濃ニ跨レル峻嶺ニシテ吾妻山三國峠其北ニ峙テ山脈相亘リ  
 テ越後岩代ノ境ヲ畫ス又其境ニハ萬座、岩室、白根、武勇ノ諸高山アリ

●上野ノ川流ハ如何  
 碓氷川鳥川ハ源ヲ碓氷峠ヨリ發シ相會シテ神流川ニ入ル神流川ハ源ヲ信濃川ノ境ナル  
 初鳥屋村ノ山中ヨリ發シ東流ス利根川ハ文珠嶽ヨリ發シ吾妻川ニ會シ甘樂川ヲ併セ始  
 メテ大河トナリ武藏下總ニ入ル

●上野ノ温泉ハ如何  
 國中温泉多クシテ其最モ著ル、者ヲ草津伊香保トス伊香保ハ榛名山ノ東麓ニアリ草津  
 ハ吾津川ノ上流ニアリテ其ニ小繁華ノ地ナリ

●前橋ハ如何ナル所ナリヤ  
 上野ノ南部ニ在リ利根川其東方ヲ流シ人口一萬七千東京ヲ距ル二十八里ナリ

●下野ノ地勢如何  
 群山其後ヲ擁シ東北ハ野原ニシテ正南ハ下總ト境域相接シ沃野遠ク連ナレリ

●下野ノ山嶽如何  
 日光山ハ國ノ西北隅ニ高ク聳ユ其最モ高キ嶺ヲ黒髮山トス又那須岳鹽原山ハ共ニ北境  
 ニ峙テ庚申山ハ上野ノ境ニ跨レリ

●下野ノ川流如何  
 渡良瀬川ハ日光庚申両山ノ間ヨリ發シ絹川ハ衣沼山ノ衣沼ヨリ發シ共ニ南流シテ下總  
 ニ入ル那須川ハ男鹿山中ノ湖水ヨリ發シ小笹喜連ノ諸川ヲ集メ東流シテ常陸ニ入リ那  
 珂川トナル

●宇都宮ハ如何ナル所ナリヤ  
 下野ノ東南部ニ在リテ陸羽及日光街道ノ要衝ナリ人口凡ニ二萬ヲ有ツ

●下野ノ湖沼如何  
 日光山中ニ中禪寺湖アリ周回八里其水溢レテ華嚴瀧トナル下流ヲ大谷川ト云フ

●磐城ノ山嶽如何  
 八溝山ハ下野常陸ニ跨リ湯嶽阿伽井嶽ハ東洋ニ臨ミ矢大臣山神樂山大瀧根山國ノ中央  
 ニ峙テ又岩代ノ境ニハ甲子山朝日岳アリ

●磐城ノ川流如何  
 阿武隈川ハ甲子山ノ雄瀑雌瀑ヨリ出テ、東北ニ赴キ岩代ニ入リ陸前ノ境ヲ經テ荒濱ニ  
 注グ白石川ハ羽前ノ境ヨリ發シ東流シテ阿武隈川ニ入ル

●岩代ノ山嶽如何  
 東中西ノ吾妻山ハ共ニ羽前ニ跨レル高嶺ニシテ安達太郎山其南ニ峙テリ磐梯山ハ猪苗  
 代湖ノ北岸ニ屹立シ御神樂狸々森及鬼面大島ノ諸高山ハ越後ノ境ニ峙テ朝日岳駒岳ハ

共ニ西南隅ニ聳ル

●岩代ノ川流如何

只見川ハ尾瀬沼ヨリ發シ鶴沼川ハ鶴沼ヨリ發シ共ニ北流シテ日橋川ニ入ル日橋川ハ猪苗代湖ヨリ發シ諸水ヲ集メ西流シテ越後ニ入ル阿武隈川ハ盤城ヨリ來リ北流シテ又盤城ニ入ル

●岩代ノ湖沼如何

盤梯山ノ南麓ニ猪苗代湖アリ東西四里南北三里餘湖水溢レテ西ニ赴キ日橋川トナル

●福島ハ如何ナル所ナリヤ

岩代ノ東北隅ニ位シ阿武隈川中流ノ右岸ニアリテ東北比養蠶業ノ中央トモ稱スル所ナリ人口凡二萬ヲ有ツ

●若松ハ如何ナル所ナリヤ

會津平野ノ東ニアリテ漆器ヲ以テ名アリ人口凡一萬八千ヲ有ツ

●陸前ノ山嶽ハ如何

北ニハ栗駒山アリテ陸中ニ跨リ南ニハ笹谷峠アリテ峻險ナリ又羽前ノ境ハ連山起伏シテ南ヨリ北ニ亘レリ

●陸前ノ川流如何

北上川ハ陸中ヨリ來リ南流シテ國ノ中央ヲ貫キ分レテ兩派トナリ一ハ石巻港ニ注ギ一ハ追波ニ至リ海ニ入ル舟楫ノ通スルヲ七十里ナリ又栗原川ハ栗駒山ヨリ發シ玉造川ハ

羽前ノ境ヨリ發シ共ニ北上川ニ入リ名取川廣瀬川ハ共ニ西境ノ山間ニ發シ東流シテ仙臺ノ南ニ會シ閑上濱ニ至テ海ニ入ル

●陸前ノ湖沼如何

吉田沼ハ廣袤一里許ニシテ國ノ中央ニアリ其他此國ニハ池沼殊ニ多ク總指沼名鱒沼蕪栗沼大沼廣淵沼中田沼等各郡ニ散在セリ

●仙臺ハ如何ナル所ナリヤ

陸前第一ノ都會ニシテ街市繁盛ナリ廣瀬川其北ヲ流レテ宮城野其東南ニ連ル人口凡ソ六萬二千ヲ有ツ

●松島ハ如何ナル所ナリヤ

日本三景ノ一ニシテ宮城郡ノ東端ニアリ海水灣ヲナシ諸島其前ニ屏列シ花瀧岬其前ヲ限リ唐名洲其北ヲ渡リ灣内ノ群島三百許悉ク松ヲ生ズ風景絶佳其西南隅ニ鹽竈アリ

●陸前ノ良港

北上川ノ海口ニ石巻アリ東洋中ノ一大佳港ナリ

●陸中ノ山嶽如何

岩手山ハ陸中ノ西境ニ在リ其東ニ聳ユルテ姫神山ト云フ又東南部ニハ早池峯在リ其脈南走シテ六角半山仙人嶺等ヲ隆起シ西南隅ニハ蘇川嶽アリ



●陸中ノ礪山如何

國中ニ尾去澤ノ銅鑛及白根小坂ノ銀山アリ

●陸中ノ川流如何

岩上川ハ源ヲ北境ノ山谷ニ發シ松川、栗石川、中津川、梁川等ヲ併セ南流シテ一大河トナリ

陸前ニ入ル衣川、磐井川ニ栗駒山ヨリ發シ亦北上川ニ入ル

●盛岡ハ如何ナル所ナリヤ

陸中北上川上流ノ左岸ニ在リ人口凡三萬ヲ有ツ

●陸奥ノ山嶽如何

中央ニ八甲田山アリ其脈東北ニ赴キテ下折紙岳、三角岳及ヒ鳥帽子岳トナリ南ニ赴キテ

高田山、大岳、赤倉山トナル又南境ニハ七時雨山アリ西足シテ安比岳トナリ北ニ馳セテ稻

葉岳トナル

●陸奥ノ川流如何

岩城川ハ泊嶽ヨリ發シ白川、平川ヲ併セ西北ニ赴キ十三瀉ニ注グ馬淵川ハ陸中ノ遠別岳

ヨリ發シ白鳥、猫淵ノ諸川ヲ併セ東ニ赴キ八ノ戸港ニ注グ

●陸奥ノ港泊如何

青森野邊地ノ即港ハ青森灣ノ南岸ニ在リテ海船常ニ輻湊シ飯港ハ八戸ノ東ニ在リ又三

麻港ハ龍飛崎ノ東ニ佐井港ハ大間崎ノ南岸ニ在リ

●青森ハ如何ナル所ナリヤ

陸奥青森灣ノ南岸ニ臨ムル一都會ニシテ人口凡一萬五千ヲ有ツ

●羽前ノ山嶽如何

羽前ノ中央ニハ日山、葉山、虚空藏山、羽黒山等屹立シ其西境ニハ朝日岳アリ

●羽前ノ川流如何

最上川ハ源ヲ大日岳ニ發シテ北流シ羽後ノ境ニ沿フテ酒田港ニ注グ日本三急河ノ一ナ

リ又荒川ハ朝日岳ヨリ發シ西北ニ流レテ越後ニ入ル

●山形ハ如何ナル所ナリヤ

羽前ノ東方ニアリテ酸川其西方ヲ流ル人口凡二萬七千ヲ有ツ

●羽後ノ山嶽ハ如何

西境ニハ阿彌陀岳アリテ東境ノ駒形嶽中央ノ森吉山、太平山等ト高峻ヲ爭フ又和賀岳其

北ニ連リ藥師岳ハ其南ニ聳ユ

●羽後ノ川流ハ如何

能代川ハ陸中ヨリ來リ西流シテ能代港ニ注グ御物川ハ院内銀山ヨリ發シテ西北ニ流レ

土崎港ニ入ル此二川ハ羽前ノ最上川ト共ニ羽州ノ三大川ト稱ス

●越後ノ港泊如何

酒田港ハ國ノ西南隅ニ土崎港ハ御物川ノ海口能代港ハ能代川ノ海口ニアリ

●大方八郎瀉ハ如何

大方八郎瀉ハ一大ニ湖テ士崎野代ノ間ニアリ東西三里南北七里餘男鹿島其前ヲ限リ本山寒風山等島中ニ峙チ一岬北ニ斗山シテ其内ヲ湖水トス

●秋田ハ如何ナル所ナリヤ

羽後ノ中部海濱ニアリテ御物川其西ヲ走ル人口凡二萬九千ヲ有ツ

第五章 北陸道地理

●小濱港ハ如何ナル所ナリヤ

若狹ノ中央ニアリテ松ヶ崎其東ヲ限リ赤栗崎其西ヲ擁ス其内ヲ青戸入江ト云フ

●若狹ノ湖水ハ如何

三方湖ハ國ノ東境ニアリテ三湖アリ共ニ周回二里餘并列シテ相通ス其北ニ常神崎突出セリ

●越前ノ地勢如何

全國山多クシテ平野少ク海岸ハ濱浦相連リ港灣出入ス

●越前ノ山嶽如何

加賀ノ國境ニハ荒島嶽アリテ其東北ニ飯降山アリ國見嶽ハ越前ノ西方海岸ニ聳ヘ其北ニ高須山峙ツ又越前ノ西北隅ニ經岳若狹ノ國境ニ繁嶽アリ

●越前ノ川流如何

日野川ハ近江ノ境ナル山間ヨリ發シ國ノ中央ヲ貫キ北流シテ福井ノ西ニ至リ黒龍足羽ノ二川ヲ併セテ一大河トナリ坂井港ニ注グ

●敦賀港ハ如何ナル所ナリヤ

敦賀港ノ西北ニ立石崎斗出シテ海水深ク陸地ニ灣入ス之即チ敦賀港ニテ船舶常ニ輻湊セリ

●福井ハ如何ナル所ナリヤ

福井ハ足羽川ヲ狹ミテ建設セラレタル繁盛ノ一都會ニテ人口凡三萬七千ヲ有ツ

●加賀ノ山嶽如何

白山ハ東南隅ニ聳ヘ越前飛彈ノ境ニ跨リ劍岳大日山其左右ニ峙ツ越中ノ境ニ栗殼峠アリ其山脈能登ノ境ニ亘リテ三國山下ナシ釋迦岳ハ南境ノ峻嶺ニシテ群山其後ニ重疊ス

●加賀ノ川流如何

手取川ハ白山及劍岳ヨリ發シ諸川ヲ集メ海ニ入ル梯川ハ大日山ノ北麓ヨリ發シテ安宅湊ニ注ギ界川ハ大日山ノ西麓ヨリ發シ大聖寺ヲ經テ埴屋浦ニ注ギ才川ハ三方岳ヨリ發シ金石湊ニ注ギ淺野川ハ醫王山ヨリ發シ河北瀉ニ入ル

●加賀ノ湖沼如何

東境ニ河北瀉ナル湖水アリ東西一里南北凡二里餘其他小松大聖寺ノ間ニハ木場瀉今江瀉柴山瀉等アリテ水路相通ス

●金澤ハ如何ナル所ナリヤ

加賀ノ東北隅ニ位シ犀川及淺野川ノ二流之ヲ夾ム人口凡九萬八千ヲ有ツ

●能登ノ地勢如何

此國ハ北海中ニ突出シヨル半島國ニシテ北海上ニ突出スル三十餘里中央ヨリ折レテ東ニ向ヒ其端一大岬ヲナシ佐度島ト相對ス

●能登ノ港灣如何

國ヲ西岸ニ輪島福浦ノ二港珠洲岬ノ南ニ小木宇出津ノ二港アリ○七尾ノ入江ハ深ク陸地ニ入リタル大灣ニシテ能登島其内ニ横ハリ灣ノ南岸ニ所口港アリ

●越中ノ地勢如何

全國山岳重疊シテ東南最峻絶ナリ大川數條國中ヲ乱流シテ各海ニ入ル

●越中ノ山嶽如何

立山ハ國ノ東南隅ニ聳ヘ劍岳其東ニ峙テ藥師岳朝日山等其北ニ屏列ス礪波山ハ加賀ノ境ニアリタ水無峠金剛堂山ニ連ル其他牛岳夫婦山祖父岳袴腰山等皆高峻ナリ

●越中ノ川流如何

神通川ハ飛彈ヨリ來リ富山ヲ過ギテ東岩瀬港ニ注ギ射水川亦飛彈ヨリ來リ高岡ヲ過ギ新湊ノ街市ヲ貫キテ北海ニ注ギ小矢部川ハ大門山ヨリ發シ石動ヲ過テ射水川ニ入リ常願寺川早月川黒部川等ハ其ニ諸山ノ間ヨリ發シ北流シテ魚津港ノ東西ニ注ク

●富山ハ如何ナル所ナリヤ

越中ノ中部ニシテ神通川ノ右岸ニ在リ人口凡五萬四千ヲ有ツ

●越後ノ地勢如何

此國ハ北海ニ瀕セル大國ニシテ沿岸七十里アリ東西南ノ三面ハ群山相重リ氣候高寒也

●越後ノ山嶽如何及越後ヲ如何ニ區別スルヤ

越後ノ沿海ニテ米山ト彌彦山ト相望ミ因テ一國ノ形勢ヲ三分ス兩山ノ際ヲ中越後トシ米山以西ヲ上越後トシ彌彦山以北ヲ下越後トス下越後ニハ葡萄山鷲巢山光兔山二王子岳馬下山東岳等○越後ニハ八海山金城山苗場山黒姬山等又上越後ニハ信濃ノ境上ニ接シテ妙高山燒山等アリ

●越後ノ川流如何

國ノ中央ニ魚沼川アリ三國峠ヨリ發シ河口ニ至リ信濃川ニ會ス關川ハ信濃ヨリ來リ高田ノ城市ヲ過ギ佐内川ト合シテ今町湊ニ注ギ姫川亦信濃ヨリ來リ海ニ入リ阿賀野川ハ岩代ヨリ來リテ松崎港ニ注ギ信濃川ハ信濃ヨリ來リ長岡與板三條ヲ經テ數派ニ分レ共ニ北流シテ新瀉港ニ注キ荒川ハ羽前ヨリ來リ北流シテ桃崎ニ至リ海ニ入ル

●新瀉ハ如何ナル所ナリヤ

新瀉ハ越後信濃川下流ノ左側ニ位スル五港ノ一ニシテ人口凡四萬一千ヲ有ツ

●越後ノ重要ナル港ハ如何

新瀨港寺泊港出雲崎港直江津港等ナリ

●佐波ノ形勢如何

周回五十三里餘ノ島國ニテ南岸ヲ南濱ト云ヒ越後ニ對シ北岸ヲ海府ト云フ東西ハ海水灣入ス東ヲ夷湊ト云ヒ遙ニ羽後ト相向ヒ西ヲ眞野入江ト云フ能登ノ珠洲岬ト相對ス

●佐波ノ山嶽及礦山如何

國ノ中央ニ金北山聳ユ之ニ亞クテ二岳檀特山等トス金剛山嶺重疊シテ其間金銀ノ礦山諸々ニ散布セリ

第六章 山陰道地理

●丹波ノ山嶽如何

北境ニ大江山三岳山アリ最モ高峻ニシテ其若狹近江ニ界スル所ニ知井山アリ南境ニ半國山アリ國中モ赤山谷相連ナリ八峰アリ畑山アリ八尾山アリ

●丹波ノ川流如何

諸川源ヲ四境ノ山間ヨリ發シ相集リテ四條トナリ三方ニ分流ス其南流シテ播磨ニ入ル者ヲ佐治川トシ其北流シテ丹波ニ入ル者ヲ福知川トシ其東流シテ山城ニ入ル者ヲ保津川トス

●丹波ノ山嶽如何

國中第一ノ高山ヲ足古山ト云フ中郡ニ在リ又國ノ南境ニハ大江山屹立シ其東北ニ由良

嶽餘ニ其他與謝海ノ西ニ成相山宮津ノ南ニ普甲峠等ナリ

●丹波ノ川流如何

由良川ハ丹波ヨリ來リテ由良港ニ注ギ竹野川ハ中郡ノ山間ヨリ發シ北流シテ海ニ入リ倉橋川ハ與謝郡ノ山間ヨリ發シテ與謝海ニ入ル

●與謝海ハ如何

南ニ黒崎アリ北ニ鷲崎アリテ湖水遠ク陸地ニ入り一大灣ヲナス灣中ニ天橋立アリ

●天橋立ハ如何ナル所ナリヤ

日本三景ノ一ニシテ沙線一條長ク海中ニ斗出シ青松其上ニ茂生ス風景絶佳ナリ

●丹波ノ港泊ハ如何

由良港ハ由良川ノ口ニ宮津港ハ天橋立ノ東南ニ在リ其他舞鶴港竹野港久美濱港等アリ

●但馬ノ山嶽ハ如何

氷山ハ西南隅ニ聳ヘテ播磨因幡美作ニ跨リ城崎川ノ兩岸ニ三間山來日山ヨリ妙見山ハ氷山ノ脈ヲ承ル久斗山ハ海濱ニ近ク峙ツ又丹波ノ境ニ朝來山アリ又其西方ニハ有名ナリ生野銀山アリ

●但馬ノ川流ハ如何

斐川ハ生野銀山ヨリ發シテ海ニ入ル朝來川養父川氣多川ハ共ニ其上流ニシテ出石川ト合ヒテ城崎川ト云フ矢田川ハ氷山ヨリ發シ西流シテ海ニ入ル

●但馬ノ港泊ハ如何

諸寄港ハ因幡ノ境ニ近ク津居山港ハ丹波ノ境ニ連リ其中間ニ丹生港アリ

●因幡ノ山嶽如何

三國山ハ美作伯耆ニ跨リ菅山ハ但馬播磨ニ跨ル國中ニモ亦鷲峯山籠山頭巾山因幡山等ノ高峻ナルモノアリ

●因幡ノ川流如何

八東川ハ播磨ノ境ヨリ發シ西流シテ千代川ニ入リ因幡川ハ法美郡ノ雨瀧ヨリ發シ亦西流シ鳥取ヲ過ギ千代川ニ入ル千代川ハ人坂峠ヨリ發シ諸水ヲ併セ賀露浦ニ注ク

●因幡ノ湖水如何

賀露浦ノ西南ニ湖山池アリ周回三里餘又東ニハ湯山細川ノ二池西ニハ奥濱見池アリ

●鳥取ハ如何

鳥取ハ因州賀露川ノ右岸ニ在リテ賀露浦ニ接ス人口凡二萬八千ヲ有ツ

●伯耆ノ山嶽如何

大神山ハ山陰道第一ノ高山ニシテ鍋山高麗山等其麓ニ峠チ北ニ美徳山西ニ蛭山アリ船通山ハ出雲ノ境ニ聳ヘ三平山ハ美作ノ境ニ峠チ船上山ハ御來屋港ノ東南ニ在リ

●伯耆ノ川流如何

竹田川三朝川ハ共ニ河村郡ノ山間ヨリ發シ相會シテ天神川ト稱シ北流シテ海ニ入ル其

東ニ東郷池アリ之ヨリ發スルヲ橋津川トス日野川ハ日野郡ノ山間ヨリ發シ又海ニ入ル

●夜見濱ハ如何

夜見濱ハ北海ニ突出セル沙嘴ニシテ出雲ノ三保關ト海水ヲ擁シ一大灣ヲナス灣ノ東隅ノ岸ニ米子ノ市街アリ故ニ米子深浦ト稱ス

●中海ハ如何

島根半島ハ西ヨリ東ニ長ク突出シ其岬ヲ三保關トス伯耆ノ夜見濱ニ對シ一海狹ヲナス其内チ中海ト云フ周回凡十六里餘其中ニ大根島江島アリ

●出雲ノ山嶽如何

三國山ハ備後伯耆ニ跨リ三瓶山ハ石見ニ跨リ阿圖馬山ハ備後ニ連ル其他國中ニ三郡山天狗山等ノ高山アリ

●出雲ノ川流如何

斐伊川ハ出雲南部ノ山間ヨリ發シ横田川トナリ諸川ヲ併セ西流シテ坂田ニ至リ二派トナリ東流シテ共ニ安道湖ニ入ル○神門川ハ琴引山及女龜山ノ両源ヨリ發シ相會シテ西

北ニ流シ頓原川吉野川伊佐川等ヲ併セ遂ニ西園ニ至リ日本海ニ入ル

●出雲ノ湖水ハ如何

宍道湖ハ中海ノ西方ニ位シ周回凡十一里餘環ラスニ出雲精繼秋鹿島根意宇ノ五郡ヲ以テス又國ノ西隅ニハ神西湖アリ其周回凡一里餘

●松江ハ如何ナル所ナリヤ

松江ハ宍道湖ノ東邊ニ臨ミ馬瀧瀬戸ノ兩岸ニアリ人口凡三萬三千ヲ有ツ

●石見ノ山嶽如何

冠山ハ國ノ中央ニ峙チ北ニ矢瀧城山アリ東ニ三瓶山アリテ出雲ニ跨リ三石山星坂峠青野岳等西南ノ境ニ聳ヘ其山脈延キテ山陽道ヲ畫セリ

●石見ノ川流如何

江川ハ備後ヨリ來リ衆流ヲ併セ國ノ中央ヲ貫キ海ニ入ル又江川ノ東ニハ福光西田大國太田和田ノ諸川西ニハ守屋下府大橋君布岡崎高津ノ諸川アリ

●石見ノ沿海ノ如何

東ハ出雲ノ境ヨリ西ハ長門ノ境ニ至ルマデ凡四十里即チ所謂石見瀧ニシテ港灣出入ス其中間ニ在ルチ外浦港ト稱ス

●隠岐ヲ略説セヨ

北海中ニ列峙スル群島ニシテ別テ四島トス南ハ知夫里島中島西島ノ三島ニ分ル併セテ島前ト稱シ北ノ一島ハ島後ト稱ス兩島相距ル僅ニ六里餘ニシテ其沿海ニアル所ノ大小島嶼凡百八十餘アリ

●隠岐ノ港泊如何

島後ノ西郷港ハ東海ニ面ヒ津井浦ト相對シテ一大灣ヲナス隠岐港ト云フ其南ニ笑浦加

茂ノ兩港又島ノ西部ニ福浦港アリ島前ニハ浦郷知夫知々井ノ三港アリ

### 第七章 山陽道地理

●播磨ノ山嶽如何

雪彦山ハ國ノ北部ニ在テ笠形山ト東西相對峙シ白旗山ハ國ノ西部ニ在リテ赤穂郡ノ北境ニ位シ書寫山ハ播磨ノ中央ニアリテ姫路ノ西北ニ峙立セリ

●播磨ノ川流如何

揖保川市川加古川等皆國ノ北境ヨリ來リ國中ヲ貫キテ南流ス

●美作ノ山嶽及川流ヲ示セ

那岐山蒜山北境ニ聳ユ○高田川ハ伯耆ヨリ來リ國中ノ諸水ヲ併セテ備前ニ入り朝日川トテ津山川ハ泉山ヨリ發シ南流シテ備前ニ入り泉川ニ會ス

●備前ノ山嶽如何

大王山龍天山國ノ中央ニ聳ヘ舟坂山ハ東境ニ峙チ熊山天神山ト相對立ス

●備前ノ川流如何

吉井朝日ノ二大川ハ共ニ美作ヨリ來リ國中ヲ貫キ南流シテ兒島灣中ニ注グ

●備前兒島郡ノ形勢如何

兒島郡ハ備前ノ南端ヨリ海中ニ突出シタル半島ノ地ニシテ大灣ヲ抱ケリ其口漸窄クシテ岬端ヲ立石岬ト云フ米崎ト對シテ海狹ク隔ツ灣内ニ福島湊藤戸波アリ

●岡山ハ如何ナル所ナリヤ

岡山ハ北ニ金山ヲ負ヒ東ニ旭川ヲ帯ビ兒島灣ニ接シタル繁華ノ都會ニテ人口三萬三千

●備中ノ山嶽及川流ハ如何  
北境ニ劍花見ノ諸山アリテ中央ニ阿部見高倉ノ諸山アリ西ニ贊ノルヲ三室彌高トシ東

ニ跨ルヲ吉備中山トス○高橋成羽ノ両川ハ相會シテ一大河トナル是ヲ河邊川ト云フ松

山ヲ環リテ南流シ矢蔭川ト合ヒ更ニ分レテ兩派トナリ各海ニ入ル

●備中ノ港泊如何  
笠岡港ハ國ノ西南ノ隅ニアリ玉島港ハ國ノ中央ニ當レリ皆泊舟ニ宜シ

●備後ノ山嶽如何

大鐘女龜ノ諸山ハ北疆ニ跨リ御神山ハ中央ニ聳ヘ支分シテ龜岳蛇園山ニ連ル

●備後ノ川流如何

東城川ハ東北ノ諸水ヲ併セテ備中ニ入り三次川ハ諸水ヲ集メ北流シ安藝ノ吉田川ト合

シテ石見ニ入り韋田川ハ中央以南ノ水ヲ併セ福山ヲ過キテ海ニ入ル

●備後ノ形勢如何

全國山嶽重疊シテ平地少シ海濱ハ港灣多クシテ群小島前ニ列レリ

●備後ノ港泊ハ如何  
鞆津港ハ南出ノ岬端ニアリ又松永灣ノ西ニ尾道港アリ

●安藝ノ山嶽如何

千方阿生白木野呂等ノ諸山國ノ中央ヨリ北ニ繞リテ石見ノ境ニ連レリ

●安藝ノ川流如何

大田川及吉田川ハ共ニ石見ノ境ヨリ發シ吉田川ハ備後ノ三次川ト合シテ國境ニ沿ヒ石

見ニ入り大田川ハ國ノ中央ヨリ南折シテ數派トナリ廣島ヲ擁シテ海ニ入ル

●嚴島ハ如何ナル所ナリヤ

廣島灣ノ口ニアリ波ヲ隔テ、玖波ノ浦ト相對ス殿廊壯麗山水明媚、日本三景ノ一ナリ

●周防ノ形勢ヲ畧説セヨ

山脈東北ヨリ西北ニ連直シ西南ハ頗ル平衍ニシテ沿海港汊相連リ群島交錯シテ伊豫ニ

●周防ノ川流如何

岩國川ハ石見ノ境ヨリ發シ岩國ヲ過ギ海ニ入り佐波川ハ長門ノ境ヨリ發シ諸川ヲ併セ

●廣島ハ如何ナル所ナリヤ

廣島ハ方一里ノ都會ニテ大田川市街ヲ貫ク人口八萬二千ヲ有ツ

●山口ハ如何ナル所ナリヤ

周防ノ西隅ニシテ長門ト接スル處ニ在リ人口一萬一千ヲ有ツ

●長門ノ山嶽及川流ハ如何  
石見周防ノ境ハ重嶺橫峯綿延セリ其最モ高キヲ西鳳山豐浦山トス○河上川ハ東境ヨリ來リ萩ノ城市ニ浴ヒテ海ニ入り吉田厚狹厚東三水ハ中央ヨリ南流シテ海ニ入ル

●長門ノ沿海ハ如何  
西南隅ニ檀浦アリ海ヲ隔テ、豐前門司關ト相對ス其間ヲ早鞆海狹ト云ヒ周防灘響灘ノ界ヲナス峽西ニ赤間關アリ西道往來ノ要港ニシテ泊舟輻湊ノ港ナリ

第八章 南海道地理

●紀伊ノ山嶽川流及海岸ハ如何

吉野ノ山脈東北ヨリ來リテ熊野高野ノ諸嶺トナリ中央ニ大塔峯聳ユ○成川ハ大和ヨリ來リテ東南ニ流レ紀ノ川ハ大和ヨリ來リ和歌山ヲ過ギテ海ニ入ル其他國中川流數十アリ皆海ニ朝ス○海岸凡百二十里アリ

●日本第一ノ瀑布如何

紀伊ノ那智ニ大瀑布アリ直下百餘丈ナリ

●和歌山ハ如何ナル所ナリヤ

紀伊川河口ノ南ニ在リテ西南ハ和歌浦ニ接ス人口凡五萬五千

●淡路ノ地勢ヲ略說セヨ

全國三角狀ヲナシタル島嶼ニテ正北ノ一角ハ長ク延ビタリ其端ヲ岩扇浦ト云フ明石瀬

戸ヲ挾ミテ播磨ト相對ス東隅ヲ由良ト云フ紀伊ノ加太ト對ス西隅ハ即チ鳴門ニシテ阿波ト海水ヲ扼シ潮流渦ヲナス舟行最モ危險ナリ

●阿波ノ山嶽如何

西境ニ劔山祖谷山アリ山脈東ニ奔リ高越燒山諸山ニ連リテ國勢ヲ南北ニ兩分ス

●阿波ノ川流如何

吉野川ハ土佐ヨリ發シ伊豫ヨリ來レル川ト相會シ五派ニ分レテ海ニ入ル那賀川モ亦土佐ヨリ發シ直ニ東流シ二派ニ分レテ海ニ入ル

●阿波ノ港泊如何

阿波ニ撫養港、小松島港、加島港、那佐港、等アリ

●徳島ハ如何ナル所ナリヤ

阿波ノ東岸ニシテ吉野川ノ下流ナル廣戸別宮兩河口ノ間ニ在リ人口凡五萬七千

●讃岐ノ山嶽如何

國ノ南境ニ雲邊山峙チ海岸ニ八栗山聳ユ其他有名ナル象頭山白峯等アリ

●讃岐ノ地勢ヲ略說セヨ

東北ハ内海ニ面シ群島錯錯シテ山陽道ニ連ル其稍大ナルヲ小豆島トス島ノ西邊ニ笠崎港アリ水島灘ニ斗出ス丸龜多度津ノ二港ハ國ノ西北ナル海灣ノ内ニアリ

●高松ハ如何ナル所ナリヤ



讃岐ノ北岸ニ臨ミ香東川ト其支流ナル御坊川トノ間ニアリ人口凡三萬八千ヲ有ツ

●伊豫ノ地勢如何  
國勢彎折シテ西北海ニ臨ム佐田岬其間ヲ限リ海ニ斗出スルコト十八里豊後ノ佐賀關ト海峽ヲ夾ム此ヨリ東北ノ海ヲ燧灘又ハ硫黃灘ト稱ス

●伊豫ノ山嶽及川流ハ如何

土佐ノ境ニ峻山屏列シテ一ノ山脈ヲナス唐岩山笹山其南ニ聳ヘテ石槌寒山ノ諸山ハ其東ニ連レリ○肱川ハ土佐ヨリ來リ大洲ヲ過ギテ燧灘ニ入り重信石手ノ兩川ハ連山ノ間ヨリ發シ合シテ松山ノ南ニ至リテ燧灘ニ入ル

●松山ハ如何ナル所ナリヤ

伊豫中部ノ都會ニシテ重信川下流ノ北ニ沿ヒ道後ノ温泉ニ近シ人口凡二萬九千

●土佐ノ地勢如何

地勢彎環南海ニ沿ヒテ大灣ヲナス東西ノ兩岬相對シテ海南ニ斗出シ東ヲ室戸崎ト云ヒ西ヲ蹉陀崎ト云フ沿岸凡九十里アリ灣ノ内ニ宇佐、須崎アリ外ニ甲浦、宿毛アリテ皆泊舟ニ宜シ又國中ハ山岳林叢三分ノ二ニ居リ地形南ニ循ヒテ漸ク低シ

●土佐ノ如何

連山一帶國境ヲ限リ伊豫ト腹背ヲチシ矢筈岳高ク其中央ニ聳ユ又海岸ニハ火打山御在所森山等相聳ヘテ西北境ニハ角山氷山屏列セリ

●土佐ノ川流如何

吉野川ハ矢筈岳ヨリ發シテ阿波ニ入り仁淀川ハ伊豫ヨリ來リ南流シテ吸江ノ西ニ注ギ肱川ハ角山ヨリ發シ北流シテ伊豫ニ入ル

●高知ハ何ナル所ナリヤ

土佐灣頭ノ一都會ニシテ鏡川ノ流ヲ帶テ人口凡三萬二千

### 第五章 西海道地理

●筑前ノ山嶽如何

冷水嶺高ク聳ヘテ西境ヲ限斷シ寶滿山ハ國ノ中央ニ位シ岩屋山天拜山等其左右ニ峙ツ

●筑前ノ川流如何

遠賀川ハ上流ヲ淺沼川ト云フ北流シテ海ニ入り那珂川多田羅川ハ共ニ寶滿山ヨリ發シ西北ニ赴キ共ニ博多ノ津ニ入ル

●筑前ノ沿海ハ如何

西北沿海ノ地ハ岬崎島嶼參錯シ鐘ヶ岬北端ニ出テ、玄海洋ニ臨ミ洞海ハ國ノ東北隅ニ入り込テ名護屋崎ト若松浦ト相向ヒ灣口ヲ擁ヒリ又西南ニ博多灣アリテ西北ニ志賀鼻アリ一條ノ長洲西ニ出ヅル凡三里

●福岡ハ如何ナル所ナリヤ

筑前ノ博多灣ニ臨ミ那珂河口ノ西ニアリ人口凡四萬三千ヲ有ツ

●筑前ノ山嶽及川流如何

高良山國ノ中央ニ峙チ其南部ハ高井岳熊渡山文字山等ノ群山重疊シテ豊後肥後ノ境ニ至ル○筑後川ハ豊後ヨリ來リ筑前ノ境ニ沿ヒテ西流シ肥前ノ境ヲ沿ヒ分レテ兩脈トナリ筑紫海ニ入ル矢部川ハ三國山ヨリ發シ西流シテ柳川ニ至リ分レテ三川トナリ海ニ入

●豊前ノ山嶽及川流如何

英彦山ハ西南ニ位シテ高ク聳ヘ大ケ岳其東ニ峙ツ鹿嵐山ハ國ノ東隅ニ高ク峙チ御許烏帽子ノ諸山其左右ニ列ス○小波瀬川ハ英彦山ヨリ發シ北流シテ海ニ入ル高瀬川モ亦英彦山ヨリ發シ東北ニ環流シ中津ニ至リ海ニ入ル

●豊前ノ沿海如何

門司ヶ崎ノ東方ニ部崎アリテ東南遙ニ豊後ノ國東山嘴ト相望ム其間海濱凡三十里以テ周防洋ノ西南ヲ限レリ

●豊後ノ山嶽及川流ハ如何

由布岳ハ國ノ中央ニ位ス鶴見山其北ニ屏列シ四極山其前ニ峙チ高崎山其西ニ列ル又日向肥後ノ境ニ祖母岳アリ○大野川ハ肥後ヨリ來リ岡ノ城邑ヲ過ギテ東北ニ流レ日田川ハ西流シテ筑後川ノ上流ヲナス

●豊後ノ沿海如何

東方ハ岬灣參錯シテ杵築、鶴崎諸港アリ佐賀開ハ遙ニ伊豫ノ御崎ト相對シテ内海ノ門

戸ヲナス其東極ヲ地蔵岬ト稱ス

●大分ハ如何ナル所ナリヤ

内海ニ臨ミ豊後大分河口ノ西ニアリテ鶴崎ト相距ル三里人口凡一萬四千

●肥前ノ沿海ハ如何

地勢ハ岬灣出入セル半島國ニシテ沿海殆ンド二百里、東西松浦ノ二半島ハ北方ニ突出シテ伊萬里灣ヲ擁シ鯛浦ハ西邊ニアリテ東西彼杵ノ中間ニ灣入シ其東南ニ筑紫海アリテ兩肥及筑後ノ兩端ニ亘ル又沿海ニハ數百ノ島嶼羅列セリ

●肥前ノ山嶽及川流如何

多良嶽ハ肥前ノ東部ニ屹立シ其山脈東シテ前岳帆柱山トナリ西北シテ釜伏山トナル國ノ北端ニハ領布振山アリテ東北浮岳ト相對ス又温泉岳ハ肥前ノ南端島原半島ノ中央ニ立ッ噴火山ナリ○川上多久武雄ノ諸川ハ皆筑紫海ニ注ギ松浦川ハ北流シテ海ニ入ル

●肥前ノ港泊如何

國ノ南部ニ長崎港、島原半島ノ東北端ニ島原港、鯛浦ノ灣口ニ佐世保港、東松浦半島ノ北端ニ名護屋港、松浦郡ノ北ニ唐津港等アリ

●佐賀ハ如何ナル所ナリヤ

肥前ノ東北部ニ在リテ川上川ノ東岸ニ沿ヒ筑紫海ニ近シ人口二萬五千ヲ有ツ

●長崎ハ如何ナル所ナリヤ

●開港場ノ一ニシテ肥前彼半島ノ南部ニ在リ人口三萬八千ヲ有ツ

●肥後ノ地勢如何  
西南ハ地勢平坦川流縱横灌溉ニ便ニテ田野大ニ開ケタレモ東北ハ巒峯重嶺相連リ日向ノ境ニ及ビテハ益險奥ニシテ其境界ヲ分クズ

●肥後ノ山嶽及川流如何

阿蘇山ハ正東ニ位セル噴火山ニシテ九州第一ノ高峯ナリ又東北隅ニハ涌蓋山三國岳薩摩ノ國境ニハ矢筈山アリ○白川ハ阿蘇山ヨリ發シ西流シテ熊本ヲ過ギテ海ニ入り緑川隈川モ亦阿蘇山ヨリ發シ一ハ海ニ入り一ハ豊後ニ入ル高瀬川ハ三國山ヨリ發シ衆流ヲ集メ西流シテ海ニ入り玖麻川ハ日向ノ境ヨリ來リ西流シ八代ニ至リ海ニ入ル

●熊本ハ如何ナル所ナリヤ

肥後ノ白川下流ノ北峯ニ臨メリ人口凡四萬四千ヲ有ツ

●日向ノ地勢如何

東南洋ニ面セル大國ニア瀬海ノ地ハ平行ニシテ美々津細島等ノ良港アレモ西北ハ重山深嶺相連リ大川數條東流シテ海ニ注ク

○日向ノ山嶽如何

霜島山ハ國ノ西南ニアリ噴火山ニシテ東西兩峯ニ分カレ共ニ大隅ニ跨ル行膝山速日岳尾鈴山等ハ國ノ北境ヨリ中央ニ亘リ南ニ赴キテ法華岳アリ尙ホ進ミテ障泥岳鰐塚山小

松山鈴岳トナル又國ノ西方市房山ヨリ東ニ列ル山ヲ石堂山尾包山トス

●日向ノ川流如何

五箇瀬川ハ五家中ヨリ來リ延岡ノ城市ヲ過キテ海ニ入り耳川ハ西境ノ山間ヨリ發シテ美々津港ニ注ギ一ノ瀬川ハ上流ヲ米良川ト云ヒ東南ニ流レテ徳淵港ニ注ク大淀川ハ上流ヲ繩瀬川ト云ヒ霧島山中ノ諸水及野尻川及綾川等ヲ合セ宮崎ノ南ニテ海ニ注ク

●宮崎ハ如何ナル所ナリヤ

日向大淀川ノ兩岸ニ連ナリ其海口ニ接ス人口凡一萬二千

●大隅ノ沿海如何

國形ハ薩摩ト共ニ二大岬ヲナシ海中ニ突出シテ一内海ヲナス國ノ南端ノ岬ヲ佐多崎ト云フ其傍ニ大泊港アリ立目崎ハ佐多崎ノ北ニ在リ薩摩ノ山川津ト相對シテ内海ノ口ヲナス内海ノ中央ニ櫻島アリ又内浦ハ東外海ニ臨ミタル泊舟ノ地ニテ岬端ヲ火崎ト云フ

●大隅ノ山嶽及川流如何

高隈嶽ハ鹿兒島灣ニ臨ミ垂水嶽ハ高隈嶽ノ東南ニ連ル又櫻島ノ中央ニ噴火山アリ御岳ト云フ○境川ハ上流ヲ鹿屋川ト云ヒ志布志灣ニ注ク又新川及別府川ハ國ノ北部ニ在リ南流シテ鹿兒島灣ニ注ク

●志布志灣ハ如何

日向大隅一州ノ間ニアリ灣口東南ニ向ヒテ日向ノ南端ヨリ大隅ノ東北海岸ニ亘リ日向

● 都井岬大隅ノ火崎ト相對シテ海門ヲ擁ス

● 薩摩ノ地勢如何

國中山多クシテ平地少ク特ニ日向肥後ノ境ニ至リテハ峯巒重疊セリ

● 薩摩ノ山嶽及川流ヲ示セ

國ノ南端ニ噴火山アリ開聞山ト云フ又北部ニ紫尾山アリテ東北朝日岳ニ連リ西方國見岳ニ亘ル○川内川ハ日向大隅ノ境ヨリ發シ諸水ヲ併セテ外海ニ入ル

● 鹿兒島ハ如何ナル所ナリヤ

薩摩ノ甲突川ニ浴ヒ鹿兒島灣ニ臨ミ前面ニ櫻島アリ人口凡四萬五千

● 壹岐ノ地勢ヲ略說セヨ

肥前海上ノ一孤島ニシテ周回三十五里全島悉ク山ニシテ沿岸ハ岬灣出入シ淀泊ノ便アリ○魚釣山ハ北出ノ岬端ニ聳ヘ○谷合川其南ヲ流ル○北邊ニ本勝港アリ

● 對馬ノ地勢ヲ略說セヨ

日本海ノ西北ニ位セル兩大島ニテ壹岐ノ勝本ヲ距ルル十二里○上島ハ周回五十里アリテ其中央ニ有明山矢筈山女岳等相連ナリ又嚴原ナル泊舟ノ地アリ○下島ハ周回百三十里アリ南北ニ長ク亘リ東西ノ兩岸ハ港灣多シ北端ニ鰐浦アリテ朝鮮ノ釜山浦ニ對シ東岸ニハ網代舟志佐賀ノ諸澳西岸ニ大浦佐須奈ノ諸港アリテ中央ニ御岳高ク聳ニ佐護伊奈等ノ諸川アリ○又兩島ノ間ヲ淺茅浦ト云フ海岸相逼リテ一灣ヲナス

● 琉球ノ地勢ヲ略說セヨ

琉球ハ薩摩開聞岬ノ西南凡一百四十里許ノ海上ヨリ西南ニ亘ル群島ヲ以テ一國ヲナス群島ノ數凡五十五分ツテ沖繩群島先島群島ノ二トナス地形狹長ニシテ高山大川ナク氣候恒燠ニシテ霜雪降ラズ艸木毎ニ繁茂ス那覇ハ島中第一繁盛ノ都府ニシテ人口凡一萬五千ヲ有シ其他天住用石垣等ノ良港アリ

### 第十章 北海道地理

● 渡島ノ沿海如何

渡島ハ三面ニ海灣ヲ抱ク其西灣ハ全ク日本海ニ向ヒテ海岸ハ岬灣出入シ灣ノ中央ニ江刺港アリ東灣ハ膽振ノ江巴ノ崎ト相向ヒ内浦ノ一大灣ヲナシ南灣ハ全ク陸奥ト相對シ兩端ニ惠山崎白神崎アリテ灣ノ中央ニ箱館ノ港アリ

● 渡島ノ山嶽及川流ハ如何

黒岳ハ膽振後志ノ界ニ峙チ其山脈延ヒテ大川岳惠山(噴火山)千軒岳知内山トナル又國ノ西灣ニハ見見岳錫岳東岸ニハ駒岳アリ○知内川ハ千軒岳ヨリ發シテ海ニ入り安奴留川ハ黒岳ヨリ發シ西流シテ江刺ノ北ニ注キ落部川ハ黒岳ヨリ發シ東流シテ内浦ニ注ク

● 箱館ハ如何ナル所ナリヤ

渡島灣ノ北岸ニ臨ミ北海道中繁榮第一ノ地ニシテ開港場ノ一ナリ人口凡四萬五千

● 後志ノ山嶽及川流ハ如何

後志ノ山嶽及川流ハ如何

後方羊蹄山ハ擔振ニ跨リ黒松内岳大平岳モ亦擔振ニ亘ル又後方羊蹄山ノ北西ニハ余市岳八内岳古平岳及積丹岳等連リ雷電山ハ西部海濱ニ連テレリ○利別川ハ擔振ヨリ來リ西流シテ海ニ入ル朱太川後志川モ亦共ニ擔振ヨリ來リ壽都灣ニ注ク

●後志ノ沿海如何  
神威岬ハ日本海ニ突出シ東北石狩ノ濱益岬ト共ニ小樽ノ灣ヲ擁シ又西南白糸岬ト相對シテ磯谷ノ灣ヲ抱ク

●石狩ノ山嶽ハ如何  
國ノ東境ニ石狩岳アリ東南ハ十勝岳ニ接シ北ハ天鹽嶽ニ連ル全道山脈ノ因テ起ル所ナリ又黄金山阿曾山ハ海岸ニ峙テ夕張岳ハ南境ヲ限リ札幌嶽ハ西南隅ニ立ツ

●石狩ノ川流ハ如何  
夕張川ハ夕張嶽ヨリ發シ西流シテ石狩川ニ入ル石狩川ハ石狩嶽ヨリ發シ曠野ノ間ヲ横流シテ海ニ入ル空知川札幌川雨龍川等皆石狩川ニ入ル

●札幌ハ如何ナル所ナリヤ  
殆ド全道ノ中心ニ位レ石狩川下流ノ南方豊平川ノ傍リニアリ人口凡一萬五千

●天鹽ノ沿海ハ如何  
海岸四十里全ク西ニ臨ミ險崖相連リ海濱ハ淺砂遠ク且リ舟泊ニ便ナラズ

●天鹽ノ山嶽及川流ハ如何  
天鹽岳ハ國ノ東南隅ニ峙ツ其他國中ニハ羽幌山幌尻山辨花片山著寒別山等アリ○天鹽川ハ源ヲ石狩十勝ノ二岳ヨリ發シ天鹽國ノ東南ヨリ西北ニ向テ流レ海ニ入ル又留崩川ハ幌内山ヨリ發シ西流諸水ヲ合セテ留崩ニ至リ海ニ入ル

●北見ノ沿海如何  
全國總テ北海ニ臨ミ西端ノ岬ヲ宗谷ト云フ樺太州ノ自主岬ト相對ス宗谷ノ西南ニ納紗布崎アリ東端ノ岬ヲ千床ト云フ千島國後島ニ向テ沿岸自ラ一大灣ヲナシ兩岬ノ間相距ルコト百餘里灣ノ中央ニ紋別ノ崎アリ西ニ鴨居崎アリ東ニ野浦ノ崎アリ

●北見ノ山嶽及川流ハ如何  
天鹽ノ境ニハ一帶ノ連山アリテ屯斗登散酢岳ノ高隆ヲナシ又根室ノ境ニハ硫黃岳斜里岳等相峙アリ○常呂川ハ十勝ノ境ニ發シ國ノ中央ヲ流レテ海ニ入ル其他國中ニハ富別川紋別川斜里川等アレヒ川流甚大ナラズ皆北流シテ海ニ入ル

●膽振ノ沿海如何  
國形狹長ニシテ灣曲セリ東部ハ大洋ニ向ヒ西部ハ一大灣ヲナス灣ノ東端ニ江巴ノ崎アリ渡島ノ内浦ト相對ス又海岸ニハ勇拂白老ノ諸港相連リ大洋ニ向ヘリ

●膽振ノ山嶽及川流ハ如何  
後志ノ境ニ昆保岳蟹寒岳「ルニツ」岳有珠岳アリ又之ヨリ東北ニ進ミテハ白老山樽前岳紋別岳惠庭岳等アリ○渡島ノ境ニ近ク遊樂部川アリ其少シク北ニ在ル長萬部長流別川

ト共ニ火山灣ニ入ル又日高ノ境ニ近ク鶴川アリ其西方ナル勇拂川白老川ト共ニ外洋ニ入ル

●日高ノ山嶽及川流ハ如何

神威岳ハ十勝ニ跨ル峻峯ニシテ山脈南亘シテ樂古山及豐居山トナリ其端岬角トナリテ大洋ニ出ツ之ヲ襟裳崎トス○沙流川厚別川新冠川染退川三石川元浦川等皆源ヲ石狩十勝ノ境ナル連山ヨリ發シ西南ニ直行シ川道屏列シテ海ニ入ル

●十勝ノ沿海ハ如何

國內ハ地勢平坦ニシテ海濱ハ正南ニ大洋ヲ受ケ氣候溫和沿岸ニハ舟舶ノ地多ク連レリ

●十勝ノ山嶽及川流ハ如何

十勝嶽ハ西北ニ峙テ山脈西ニ連リ石狩嶽夕張嶽ニ接シ折レ南ニ赴キテ豐居嶽臘虎岳トナル札内等呂ノ諸嶽其東ニ屹立セリ○十勝川一名大津川ハ十勝嶽ヨリ發シ南流シ別レテ兩派トナル支流ヲ於發内川ト云フ各海ニ入ル歷船川ハ豐居岳ヨリ發シ臘虎川ハ臘虎嶽ヨリ發シ各又海濱ニ注ク

●訓路ノ沿海ハ如何

海岸全ク大平洋ニ臨ミ沿岸ニ奇岩怪石并列ス西ニ白糠ノ港アリ中央ハ即チ久摺ノ港ナリ又國ノ東端ニ厚岸灣アリ有名ノ良港ニテ灣内ニ牡蠣島アリ

●訓路ノ山嶽如何

國ノ正北ニ男阿寒女阿寒ノ兩岳双立ス噴火山ニシテ高峻ナリ男阿寒ノ東ニ摩周岳聳ヘ又其東ニ西別岳峙ツ又國ノ西北境ニハ利薰別岳アリテ西十勝岳ニ連レリ

●訓路ノ川流如何

久摺川ハ訓路ノ北境山中ニ發シ南流シ諸水ヲ合セテ訓路港ニ注ク又西別川標津川ハ西別岳ヨリ發シテ根室ニ入リ綱走川ハ利薰別岳ヨリ用シテ北見ニ入ル

●訓路ノ湖水ハ如何

阿寒湖ハ男阿寒女阿寒兩岳ノ間ニアリテ阿寒川ノ源ヲナシ又摩周岳ノ東ニ摩周湖西ニ久摺湖アリ

●根室國ノ沿海ハ如何

此國ハ北海道ノ東端ニアリ南北ノ兩大岬相對シ其間一ノ海灣ヲナセリ又灣ノ中央ニハ野付崎突出シ根室ト相對シ灣中復小灣ヲナス

●根室ハ如何ナル所ナリヤ

根室ノ東南岸ニ在リ其港ハ北ニ向ヒ辨天島其前ニ立ツ北海道東北部ノ要樞ノ地ナリ

●根室ノ川流ハ如何

西別川標津川ハ共ニ訓路ヨリ來リ東流シテ根室灣ニ注ク又風蓮川ハ訓路ノ境ナル風蓮湖ヨリ發シ西別ノ南ニ入ル

●千島ノ地勢ヲ略説セヨ

千島ノ地勢ヲ略説セヨ

千島ハ帝國ノ東北隅ニ并列スル三十二個ノ島嶼ヨリ成リ東北ヨリ斜ニ西南ニ入ルコト  
三百餘里太平洋ト阿科斯科海トノ境界ヲナス

●千島ノ國後島ヲ略説セヨ

國後ハ狹長ナル島ニテ西南ヨリ東北ニ至ル凡ソ三十里其半身ハ根室灣内ニ入ル西ノ岬  
ヲ泊ノ港トナス根室ノ野付ヲ隔ツル五里東北ノ端ヲ歌ノ津ト云フ擇捉島ト相對ス其間  
七里又島中ニ高山アリ茶々山ト云ヒ又其西ニ瀨田山峙テリ

●千島ノ擇捉島ヲ略説セヨ

群島中ノ最大ナルモノヲ西南ヨリ東北ニ至ル凡ソ五十里全島殆ド山ナリ北岸ハ港灣  
多ク振別港ヲ始メ碇泊ニ便ナル港多クレモ東南岸ハ斷崖絶壁船ヲ近ヅケ難シ北出ノ岬  
端ニ刺鬼別瀑アリ高サ五十四丈奔流直下シテ海中ニ落ツ○コノ島ヨリ東北ハ群島雜列  
シ遂ニ魯西亞ノ甘察加ニ達ス

日本地理試驗問題解答終

明治二十四年三月廿七日印刷  
明治二十四年三月三十日出版

版權所有

編輯兼發行人

岩崎鐵次郎

發兌所

岩崎鐵次郎

東京神田區駿河臺袋町七番地寄留

櫻井幸三郎

全 下谷區車坂町六十七番地

成文館

全 神田區駿河臺袋町七番地

大 賣 別  
東京神田區神保町  
全 本郷區元富士町  
全 本郷區元富士町  
全 神田區錦町一丁目  
全 神田區錦町一丁目  
全 京橋區三十三間堀  
全 全彌左衛門町  
全 日本橋區金吹町  
全 日本橋區鐵砲町  
全 大坂心齊橋通安堂寺町  
全 丹波氷上郡柏原新町  
石川縣金澤町片町

上田屋支店  
盛春堂  
黑雲堂  
武藏屋  
長明堂  
東海堂  
巖々堂  
深田忠之助  
青木嵩山  
中井久太郎  
石井久太郎

秋田縣秋田上通町  
岩代福島十一丁目  
武藏北足立郡島根村  
相模甲府柳町  
甲斐甲府馬場町  
駿河靜岡馬場町  
遠江濱松  
靜岡縣掛川宿  
陸前仙臺大町  
伊豫今治本町  
橫濱伊勢崎町二丁目

片谷兼治  
菅間左衛門  
老川傳右衛門  
山本佐兵衛  
東浦榮次郎  
文島屋源三郎  
谷島屋源三郎  
三原屋甚藏  
木須書林  
高須書林  
里見亭太郎

成文館出版書籍目錄

- 受驗 化學問答 (第七版) 定價金六錢
受驗 日本歷史問答 (第五版) 定價金六錢
受驗 地理學問答 (第五版) 定價金六錢
受驗 萬國歷史問答 (第四版) 定價金六錢
受驗 動物學問答 (第四版) 定價金六錢
受驗 支那歷史問答 (第二版) 定價金六錢
受驗 東洋學校規則集 (新版) 定價金六錢
受驗 算術理論的問答 (新版) 定價金六錢
受驗 生理學問答 (新版) 定價金六錢

大審院檢事三島先生題辭 古志學人著
新撰國民用文 全壹冊 (齋頭金言及記事論說題跋等揭載)
正價金十五錢郵稅金六錢
從來世上三流布スル所ト
今時ニ的中スル樣
發賣所 東京市神田區裏 神保町第一番地 上田屋支店

鐵筆將軍著述
明治之細君 定價金郵稅共 二十八錢
發兌 盛春堂
本郷元富士町二番地



# 成文館出版書籍目錄

●日本地理問題解答(新版) 正價金六錢  
 ●本書ハ之ヲ總論五幾八道ノ十章ニ分チ問答体ニ各州ノ地理ヲ説明シタルモノニテ其間案ハ概子諸官立學校ノ試験問題ヨリ取集モリ然レモ既ニ日本外國地理學問答ニ載シタルモノハ本書之ヲ掲載セズ●本書掲載ノ問答凡ソ三百數十項アリ

## ●受驗用問答集 全

- 正價金三十七錢○郵稅金六錢
- 紙數十七行四十字詰四百二十ヘーシ
- 問答數一千五百余項
- 附錄諸官立學校試驗問題三百余項

- 目次
- 日本歷史 ●支那歷史 ●萬國歷史
  - 地文學 ●日本地誌 ●外國地誌
  - 動物學 ●植物學 ●礦物學
  - 物理學 ●化學

東京神田駿河臺袋町七番地

## 廣告

●日本歷史地理問題解答

右書籍全一冊ニテ發兌仕ル可キノ所記載ノ項目増殖致シ止ムヲ得ズ

●日本地理問題解答

●日本歷史問題解答

ノ二冊ニ分本仕俵從ツテ右書籍御注文ノ諸君ニハ日本地理試驗問題解答御送附可仕候付此段御了承被下度候也



特51

349

日本地理 試験問題 解答

国立国会図書館

049613-000-6

特51-349

日本地理試験問題解答

岩崎 鉄次郎 / 編

M24

BEM-0316

